

いなざわ ウィルネット通信



☆発行☆
いなざわウィルネット
発行責任者／吉次栄子
〒492-8269
稲沢市稲府町1番地
稲沢市教育委員会生涯学習課
TEL 0587-32-1111
FAX 0587-32-1196

いなざわ男女共同参画社会づくり学習会・(公財)あいち男女共同参画財団サテライトセミナー 「あなたも私も輝いて、最期まで、人間らしく、自分らしく・・・」

特定非営利活動法人さわやかファミリーサポートセンターの理事長、丹下多栄美さんに、長寿社会の介護問題について、講演をお聞きしました。

丹下さんが、講演前に、軍手・エプロン姿で、七つ道具の入ったリュックを背負った姿で講師席に座っておられたときにはとても想像できませんでしたが、自己紹介が始まると、パワフルな声で、日々の介護活動の紹介をされました。



丹下さんは、29年間務めた公立中学校教員の仕事を辞め、実母の介護を約10年間続ける中で、在宅介護の難しさ、見とりについての問題に直面しました。これをきっかけに住民相互型助け合い組織を立ち上げ、「お互い様の助け合い」をモットーに、誰もが安心して暮らせる町づくりを目

指して活動中です。73歳の年齢にもかかわらず、前向きにデイサービスの事業を運営しているのは、素晴らしいことです。

講演は、四部構成になっていました。

第一部は、活動の状況についての紹介です。地域でのボランティア活動、デイサービスの運営、さわやか福祉財団のインストラクターなどが、主な仕事だそうです。

第二部は、活動の中で発見した高齢者の問題です。家庭で介護できなくなる主な要因は、①排便処理の難しさ、②家庭内でのトラブルや近所からの苦情、③さまざまな費用が掛かる、ということです。そして、要介護状態にならないためには、健康の維持や、より良い家族関係、夫婦の財産は自分たちの老後のためにあてることなどが大切です。

第三部は、介護保険の導入と少子化などの社会変化です。介護を支える若い人たちが、極端に不足していて手厚い介護は期待できず、大きな課題になっています。

第四部は、高齢者の意識改革、男女共同介護の必要性についてでした。最後まで誇りを持って人生を送るには、精神的、肉体的、経済的自立が重要とのことでした。今後に備えていくことが大事だと思いました。

男女共同参画啓発パネル展を開催しました！



男女共同参画週間（6/23～29）に合わせて、6月24日（金）から30日（木）まで、稲沢市役所 1 階の市民ホールにて男女共同参画啓発パネル展を開催。初日である24日には、啓発品といなざわ男女共同参画社会づくり学習会（6/25 開催）のちらし配布も行いました。

講演会のご案内

第19回いなざわ男女共同参画社会づくりフォーラム 講演 「自分らしく生きるために」－ 家田からのエール － 講師 家田荘子（作家／高野山真言宗僧侶）

日本大学芸術学部放送学科卒業。高野山大学大学院修士課程修了。
女優、OL など 10 以上の職歴を経て作家。
高野山本山布教師も務める。
著作は「極道の妻たち」®、「歌舞伎町シノギの人々」、
「四国八十八ヶ所つなぎ遍路」など 132 作品。



と き 平成28年11月27日（日）午後1時15分～3時

ところ 名古屋文理大学文化フォーラム 中ホール

定 員 500人（市内在住・在勤のかた）

入場料 無料（要座席指定券） ※ 託児無料・手話通訳あり

申込み 往復ハガキにて申込み（応募多数の場合は抽選）

※詳細は、市広報10月号、チラシまたはホームページをご覧ください。